

様式第2号の1

 液化石油ガス設備工事概要書 1
 (500kg超1,000kg未満の容器)

工 事 者 氏 名			免 状 番 号	
施 工 年 月 日				
気密試験	実 施 年 月 日		時 分～ 時 分	
	実 施 者 氏 名		免 状 番 号	
供 給 管	材 料			
	腐 し ょ く 防 止			
	危 険 標 識	要 (箇所表示) ・ 不要		
容 器	貯 蔵 量	kg (kg× 本)		
	火 気 と の 距 離	m ・ ガス流動防止装置		
	温 度 上 昇 防 止	要 () ・ 不要		
	転 落 転 倒 防 止			
	腐 し ょ く 防 止			
貯 蔵 施 設	滞 留 防 止 措 置	高さ cm 幅 cm ヶ所設置		
		通風可能面積 Cm^2 ・(必要最低面積 Cm^2)		
	警 戒 標			
	消 火 設 備	種 類 能 力 A— B— 数量 本		
安 全 器 具		()メーター ・ 警戒連動遮断 ・ 耐震遮断		
液 化 石 油 ガ ス 販 売 事 業 者 の 名 称 及 び 所 在 地				
備 考				

液化石油ガス設備工事概要書 2
(1,000kg以上3,000kg未満の容器)

工 事 者 氏 名				免 状 番 号	
施 工 年 月 日					
気密試験	実 施 年 月 日			時 分～	時 分
	実 施 者 氏 名			免 状 番 号	
供 給 管	材 料				
	腐 し ょ く 防 止				
	危 険 標 識	要 (箇所表示) ・ 不要			
貯 蔵 量		kg (kg× 本)			
火 気 取 扱 施 設 距 離		m ・ ガス流動防止装置			
保 安 距 離		第一種() m 第二種() m			
貯 蔵 施 設	壁 面	()造 高さ cm 厚さ cm			
		補強筋 mm φ 間隔 縦 cm 横 c m			
	扉	高さ cm 幅 cm 厚さ c m			
		補強材() 間隔 縦 cm 横 c m			
	滞留防止措置	高さ cm 幅 cm ヶ所設置			
		通風可能面積 Cm ² ・(必要最低面積 Cm ²)			
	警 戒 標				
	消 火 設 備	種類	能力	Aー Bー	数量 本
	屋 根	屋根組 屋根材			
	転 落 転 倒 防 止				
床 面	コンクリート ・ アスファルト ・				
安 全 器 具		()メーター ・ 警報連動遮断 ・ 耐震遮断			
液 化 石 油 ガ ス 販 売 事 業 者 の 名 称 及 び 所 在 地					
備 考					

様式3号

液化石油ガス設備工事処理簿

[illegible]

様式第4号の1

液化石油ガス設備工事審査表 1 (500kg超1,000kg未満の容器)

審査項目		補完基準	確認書類	適	否
1号	容器の位置から2m以内にある火気をさえぎる措置及び容器の屋外設置	1	概要書、配置図		
2号	容器底部の腐しよくの措置(排水のよい水平な場所又は水平な台の上に設置)		同上		
3号	容器を常に40度以下に保つ措置	2	同上		
4号	容器の転落・転倒防止措置	3	同上		
5号	バルブ、集合装置、供給管の腐しよく防止装置及び適切な材料使用	4	概要書		
6号	容器を貯蔵設備内に設置する場合の液化石油ガス滞留防止措置	12	概要書、配置図		
7号	容器を貯蔵設備内に設置する場合には警戒標を設置	13	同上		
8号	容器を貯蔵設備内に設置する場合には消火設備を設置	14	同上		
9号	集合装置、供給管に適切な管の使用	5	同上		
10号	調整器とガスメーターの間の供給管の気密試験合格		気密試験記録紙		
11号	建物の自重及び土圧により損傷を受ける恐れのある供給管の損傷防止措置		配置図、配管図		
12号	供給管の位置(地くずれ、山くずれ、地盤の不同沈下等の恐れのある場所、建物の基礎面下に設置禁止)		同上		
13号	供給管の危険標識設置	6	概要書、配管図		
14号	供給管の内部の液化物排除措置	7	同上		
15号	2以上の消費設備に供給する場合、ガスメーターの入り口側の供給管にガス栓		配管図		
16号	マイコンⅡ以上の機能を有するガスメーター又はガス漏れ警報器連動遮断装置及び耐震自動ガス遮断器の設置	8	概要書、配置図 配管図		

様式第4号の2

液化石油ガス設備工事審査表2 (1,000kg超3,000kg未満の容器)

審査項目		補完基準	確認書類	適	否
1号	貯蔵設備の外側から第1種保安物件及び第1種保安物件に対する距離の確保又は障壁構造の設置	9及び10	概要書、付近状況図、構造図		
2号	貯蔵設備の外側から火気を取り扱う施設に対し5m以上又は液化石油ガス流動防止措置	11	概要書、付近状況図		
3号	貯蔵設備の液化石油ガス滞留防止措置	12	概要書、構造図		
4号	貯蔵設備にさく、へい等の設置		同上		
5号	貯蔵設備に警戒標を設置	13	同上		
6号	貯蔵設備内に消火設備を設置	14	同上		
7号	貯蔵設備の屋根又は遮へい板の基準	15	同上		
8号	容器の転落、転倒防止措置	3	同上		
9号	容器底部の腐しよく防止装置(排水のよい水平な場所又は水平な台の上に設置)		同上		
10号	バルブ、集合装置、供給管の腐しよく防止装置及び適切な材料使用	4	概要書、		
11号	集合装置、供給管に適切な管の使用	5	同上		
12号	調整器とガスメーターの間の供給管の気密試験合格		気密試験記録表		
13号	建物の自重及び土圧により損傷を受ける恐れのある供給管の損傷防止措置		付近状況図、配管図		
14号	供給管の位置(地くずれ、山くずれ、地盤の不同沈下等の恐れのある場所、建物の基礎面下に設置禁止)		同上		
15号	供給管の危険標識設置	6	配管図		
16号	供給管の温度の変化による長さの変化を吸収する措置		配管図		
17号	供給管の内部の液化物排除措置	7	配管図		
18号	2以上の消費設備に供給する場合、ガスメーターの入り口側の供給管にガス栓を設置		配管図		
19号	マイコンⅡ以上の機能を有するガスメーター又はガス漏れ警報器連動遮断装置及び耐震自動ガス遮断器の設置	8	概要書、構造図		